

平成26年度

当初予算概要

新潟県三条市



市の花
ひめさゆり



市の木
五葉松



市の鳥
芝地鶏

目 次

1	編成方針	1
2	予算規模	1
3	予算の状況（一般会計）	4
（1）	歳入の概要	4
（2）	歳出の概要	6
4	基金の状況	10
5	市債の状況	10
6	重点政策の概要	11
7	主な事業	19

1 編成方針

依然として厳しい状況にある地域経済において、公債費や扶助費等の義務的経費などの増加や退職手当の高原状態が見込まれる一方で、合併算定替終了による普通交付税の減少が目前に迫るなど、財源確保はこれまで以上に厳しくなるものと想定されます。

当市においても、先行きが依然として不透明な地域の経済状況の中で、総合計画に掲げる将来都市像の実現に向け後期実施計画の着実な推進を図るため、新経営戦略プログラムに基づく取組を着実に実行するとともに、財源の確保と重点配分を徹底することとし、予算編成を行いました。

2 予算規模

一般会計の予算規模

50,167,000 千円 （前年度比 5,292,000 千円の増、伸び率 11.8%）

三条市全体の予算規模（一般会計と特別会計の合計）

73,388,200 千円 （前年度比 4,964,500 千円の増、伸び率 7.3%）

（単位：千円、%）

区 分	平成 2 6 年度 (A)	平成 2 5 年度 (B)	比 較	
			増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
一 般 会 計	50,167,000	44,875,000	5,292,000	11.8
国民健康保険事業特別会計	10,149,400	10,375,400	226,000	2.2
後期高齢者医療特別会計	901,200	869,500	31,700	3.6
介護保険事業特別会計	8,966,900	8,707,700	259,200	3.0
農業集落排水事業特別会計	702,400	663,300	39,100	5.9
勤労者福祉共済事業特別会計	15,000	16,000	1,000	6.3
公共下水道事業特別会計	2,486,300	2,916,800	430,500	14.8
合 計	73,388,200	68,423,700	4,964,500	7.3

(1) 一般会計

一般会計の予算の規模	50,167,000 千円 (前年度比 +5,292,000 千円、+ 11.8%) [52,638,681 千円 (前年度比 +1,453,681 千円、+ 2.8%)]
投資的経費の予算規模	8,701,423 千円 (前年度比 +3,266,828 千円、+ 60.1%) [11,099,571 千円 (前年度比 598,939 千円、5.1%)]
財政調整基金(財源調整)の取崩	1,438,000 千円 (前年度比 + 838,000 千円、+139.7%)
地方債の発行	9,420,205 千円 (前年度比 +4,196,805 千円、+ 80.3%) [10,697,005 千円 (前年度比 +1,511,305 千円、+16.5%)]

下段[]書きは、国の経済対策等を活用した3月補正予算を含む額

一般会計の予算規模は前年度比 5,292,000 千円、11.8%の増(平成25年度3月補正予算を含む予算規模は前年度比 +1,453,681 千円、+ 2.8%)といたしました。

引き続き定員の適正化や総枠配分方式による予算編成などによる経費の抑制を図りながら、新保裏館線道路改築事業や浸水被害の軽減が急務である緊急内水対策事業などの社会インフラ整備に重点的に配分しました。あわせて、国の経済対策を活用し、子どもたちや利用者の安全安心を確保するため、小・中学校の耐震化や公共施設の維持補修等について、財源を確保しつつ積極的に進捗を図るなど、後年度の財政負担にも十分配慮した予算配分を行いました。

歳出

【減要因】

経常経費

- ・職員人件費(一般職) 265,531 千円(特別会計を含み、退職手当を除く)

職員数の削減	26 1,168 人	25 1,175 人(7 人)
(企業職員等含む)	26 1,208 人	25 1,216 人(8 人)

投資的経費

- ・第一中学校区小中一体校建設事業費 790,582 千円(26 460,923 千円 25 1,251,505 千円)
- ・裏館小学校改築事業費 405,204 千円(26 0 千円 25 405,204 千円)
- ・交流拠点施設整備事業費 221,212 千円(26 76,344 千円 25 297,556 千円)

その他

- ・金融対策事業費 537,983 千円(26 5,578,745 千円 25 6,116,728 千円)
- ・長期債利子 64,538 千円(26 834,077 千円 25 898,615 千円)
- ・総枠配分方式による経費削減 149,283 千円(3%、5%削減)

【増要因】

投資的経費

・緊急内水対策事業費	+ 1,417,863 千円(26 1,557,000 千円	25 139,137 千円)
・新保裏館線道路改築事業費	+ 917,772 千円(26 1,032,774 千円	25 115,002 千円)
・緑地整備費	+ 572,686 千円(26 577,386 千円	25 4,700 千円)
・大崎中学校区小中一体校建設事業費	+ 531,057 千円(26 531,057 千円	25 0 千円)

その他

・長期債元金	+ 1,241,641 千円(26 6,682,660 千円	25 5,441,019 千円)
・臨時福祉給付金給付事業費	+ 469,535 千円(26 469,535 千円	25 0 千円)

歳入

水路整備事業費充当債	+ 1,006,800 千円(26 1,084,500 千円	25 77,700 千円)
都市計画事業費充当債	+ 999,200 千円(26 1,057,700 千円	25 58,500 千円)

(2) 特別会計

国民健康保険事業特別会計

保険給付費、後期高齢者支援金などの減

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金の増

介護保険事業特別会計

居宅介護サービス受給者の増による給付費の増

農業集落排水事業特別会計

農業集落排水施設費、公債費の増

勤労者福祉共済事業特別会計

余暇事業費、給付事業費の減

公共下水道事業特別会計

国の経済対策による平成 25 年度 3 月補正に伴う公共下水道管渠建設費、特定環境保全公共下水道建設費の減

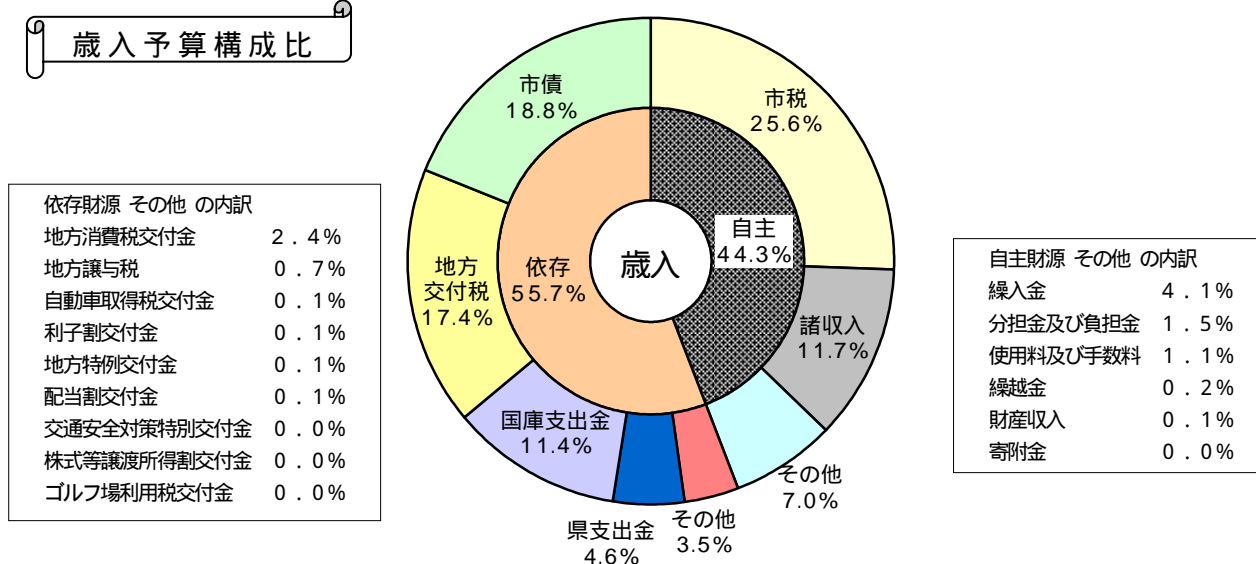
3 予算の状況（一般会計）

（1）歳入の概要

（単位：千円、％）

区 分	平成 2 6 年度		平成 2 5 年度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
1 市 税	12,848,325	25.6	12,686,881	28.3	161,444	1.3
2 地 方 議 与 税	375,000	0.7	385,000	0.9	10,000	2.6
3 利 子 割 交 付 金	26,000	0.1	30,000	0.1	4,000	13.3
4 配 当 割 交 付 金	30,000	0.1	18,000		12,000	66.7
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	4,000		2,500		1,500	60.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	1,180,000	2.4	1,050,000	2.3	130,000	12.4
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	16,000		12,000		4,000	33.3
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	48,000	0.1	90,000	0.2	42,000	46.7
9 地 方 特 例 交 付 金	42,000	0.1	45,000	0.1	3,000	6.7
10 地 方 交 付 税	8,750,000	17.4	8,600,000	19.2	150,000	1.7
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	19,000		20,000		1,000	5.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	771,143	1.5	745,618	1.7	25,525	3.4
13 使 用 料 及 び 手 数 料	540,417	1.1	561,805	1.3	21,388	3.8
14 国 庫 支 出 金	5,727,142	11.4	5,340,012	11.9	387,130	7.2
15 県 支 出 金	2,293,081	4.6	2,758,174	6.1	465,093	16.9
16 財 産 収 入	47,176	0.1	44,909	0.1	2,267	5.0
17 寄 附 金	5		5			
18 繰 入 金	2,057,745	4.1	721,149	1.6	1,336,596	185.3
19 繰 越 金	100,000	0.2	100,000	0.2		
20 諸 収 入	5,871,761	11.7	6,440,547	14.4	568,786	8.8
21 市 債	9,420,205	18.8	5,223,400	11.6	4,196,805	80.3
計	50,167,000	100.0	44,875,000	100.0	5,292,000	11.8

歳入予算構成比



【一般会計歳入の主な増減内容】

市 税 法人市民税や市たばこ税の減はあるものの、個人市民税や固定資産税の増により、161,444千円、1.3%の増

国庫支出金 社会資本整備総合交付金や臨時福祉給付金給付事業費補助金の増により、387,130千円、7.2%の増

県支出金 市町村合併特別交付金や農地農業用施設災害復旧事業費補助金、林道施設災害復旧事業費補助金などの減により、465,093千円、16.9%の減

繰入金 財政調整基金繰入金や公共施設整備基金繰入金の増により、1,336,596千円、185.3%の増

諸収入 中小企業経営安定化緊急対策資金等の制度融資繰戻金の減などにより、568,786千円、8.8%の減

市 債 水路整備事業費充当債や都市計画事業費充当債などの増により、4,196,805千円、80.3%の増

【歳入予算一般財源の状況】

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
市 税	12,848,325	47.7	12,686,881	49.1	161,444	1.3
地方譲与税	375,000	1.4	385,000	1.5	10,000	2.6
利子割交付金	26,000	0.1	30,000	0.1	4,000	13.3
配当割交付金	30,000	0.1	18,000	0.1	12,000	66.7
株式等譲渡所得割交付金	4,000		2,500		1,500	60.0
地方消費税交付金	1,180,000	4.4	1,050,000	4.1	130,000	12.4
ゴルフ場利用税交付金	16,000		12,000	0.1	4,000	33.3
自動車取得税交付金	48,000	0.2	90,000	0.3	42,000	46.7
地方特例交付金	42,000	0.1	45,000	0.2	3,000	6.7
地方交付税	8,750,000	32.5	8,600,000	33.3	150,000	1.7
繰入金	1,445,960	5.4	603,877	2.3	842,083	139.4
諸収入・その他	2,179,568	8.1	2,300,087	8.9	120,519	5.2
計	26,944,853	100.0	25,823,345	100.0	1,121,508	4.3

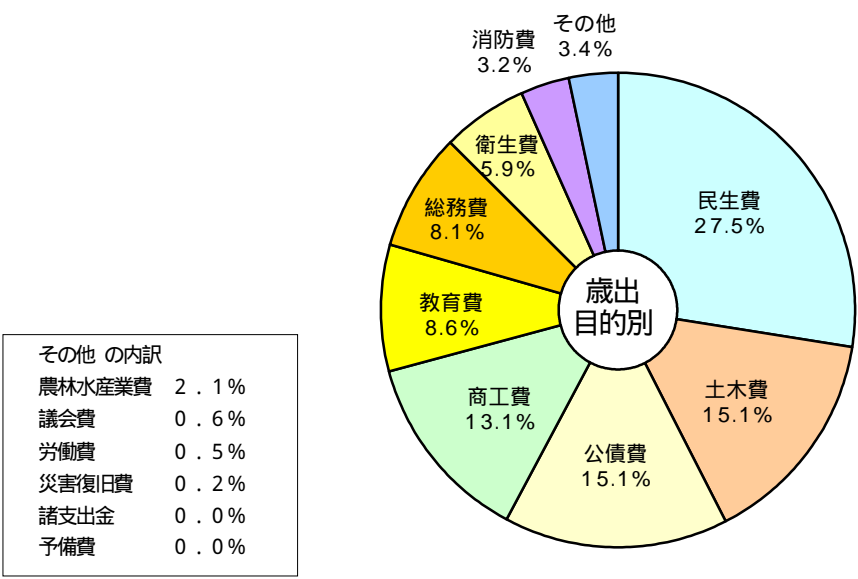
(2) 歳出の概要

目的別分類

(単位：千円、%)

区 分	平成 2 6 年度		平成 2 5 年度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
1 議 会 費	298,460	0.6	296,281	0.7	2,179	0.7
2 総 務 費	4,067,086	8.1	3,958,085	8.8	109,001	2.8
3 民 生 費	13,816,299	27.5	12,598,084	28.1	1,218,215	9.7
4 衛 生 費	2,951,350	5.9	2,784,864	6.2	166,486	6.0
5 労 働 費	233,701	0.5	203,761	0.4	29,940	14.7
6 農 林 水 産 業 費	1,066,019	2.1	1,014,143	2.3	51,876	5.1
7 商 工 費	6,564,792	13.1	7,077,678	15.8	512,886	7.2
8 土 木 費	7,570,536	15.1	3,826,162	8.5	3,744,374	97.9
9 消 防 費	1,581,124	3.2	1,439,489	3.2	141,635	9.8
10 教 育 費	4,339,270	8.6	4,962,897	11.1	623,627	12.6
11 災 害 復 旧 費	114,358	0.2	328,690	0.7	214,332	65.2
12 公 債 費	7,552,148	15.1	6,374,509	14.2	1,177,639	18.5
13 諸 支 出 金	1,857		357		1,500	420.2
14 予 備 費	10,000		10,000			
計	50,167,000	100.0	44,875,000	100.0	5,292,000	11.8

歳出予算構成比(目的別)



農林水産業費	2.1%
議会費	0.6%
労働費	0.5%
災害復旧費	0.2%
諸支出金	0.0%
予備費	0.0%

【一般会計歳出の主な増減内容（目的別）】

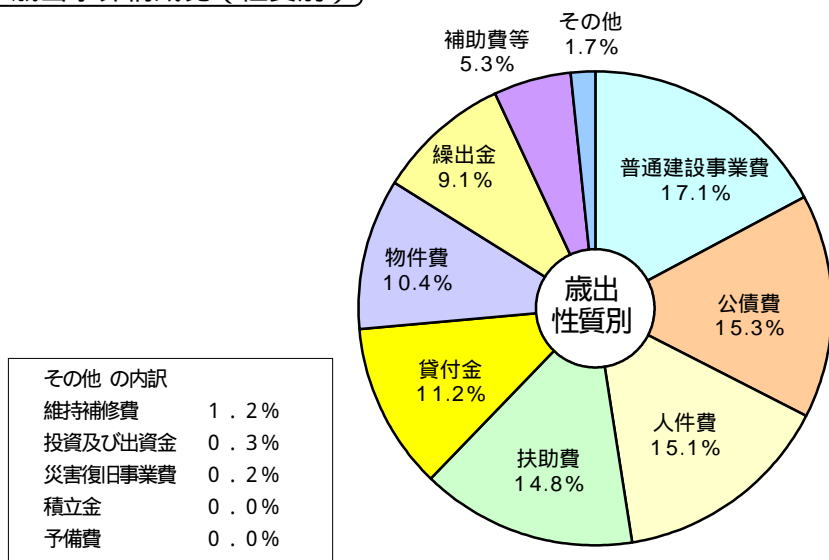
総務費	住民情報系システム共同運用等委託料や全天候型広場整備事業費などの増などにより、109,001千円、2.8%の増
民生費	大島・須頃統合保育所建設事業費や臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の増などにより、1,218,215千円、9.7%の増
衛生費	ごみ処理施設建設事業費の減などがあるものの、救急医療運営費補助金の増などにより、166,486千円、6.0%の増
農林水産業費	災害復旧関連林道改良事業費の減などがあるものの、農業集落排水事業特別会計繰出金や濁沢名下線開設事業費の増などにより、51,876千円、5.1%の増
商工費	中小企業経営安定化緊急対策資金等の制度融資預託金や交流拠点施設整備事業費の減などにより、512,886千円、7.2%の減
土木費	緊急内水対策事業費や緑地整備費、新保裏館線道路改築事業費の増のほか、国の緊急経済対策に伴い平成24年度補正予算で対応した経費を例年どおり当初予算に計上したことなどにより、3,744,374千円、97.9%の増
教育費	大崎中学校区小中一体校建設事業費の増があるものの、第一中学校区小中一体校建設事業費や裏館小学校改築事業費の減などにより、623,627千円、12.6%の減
災害復旧費	農地災害復旧費や農業用施設災害復旧費、林業施設災害復旧費の減などにより、214,332千円、65.2%の減
公債費	合併特例事業債や臨時財政対策債の元金償還金の増により1,177,639千円、18.5%の増

性質別分類

(単位：千円、%)

区 分	平成 2 6 年度		平成 2 5 年度		比 較	
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
消費的経費	23,466,521	46.8	22,189,506	49.5	1,277,015	5.8
人件費	7,568,924	15.1	7,838,432	17.5	269,508	3.4
うち職員給	4,474,494	8.9	4,725,539	10.5	251,045	5.3
うち退職手当	980,021	2.0	1,043,451	2.3	63,430	6.1
物件費	5,187,200	10.4	4,726,735	10.5	460,465	9.7
維持補修費	620,962	1.2	531,181	1.2	89,781	16.9
扶助費	7,443,599	14.8	7,364,881	16.4	78,718	1.1
補助費等	2,645,836	5.3	1,728,277	3.9	917,559	53.1
うち一部事務組合負担金	233,279	0.5	221,670	0.5	11,609	5.2
投資的経費	8,701,423	17.3	5,434,595	12.1	3,266,828	60.1
普通建設事業費	8,587,065	17.1	5,105,905	11.4	3,481,160	68.2
災害復旧事業費	114,358	0.2	328,690	0.7	214,332	65.2
公債費	7,695,337	15.3	6,519,234	14.5	1,176,103	18.0
積立金	3,712		1,407		2,305	163.8
投資及び出資金	140,206	0.3	161,544	0.4	21,338	13.2
貸付金	5,595,866	11.2	6,142,860	13.7	546,994	8.9
繰出金	4,553,935	9.1	4,415,854	9.8	138,081	3.1
予備費	10,000		10,000			
計	50,167,000	100.0	44,875,000	100.0	5,292,000	11.8

歳出予算構成比(性質別)



【一般会計歳出の主な増減内容（性質別）】

人 件 費	退職手当や職員数の減による職員給の減により、269,508千円、3.4%の減
物 件 費	住民情報系システムの共同運用や廃棄物処理、スクールバス運行に係る経費などの増により、460,465千円、9.7%の増
維持補修費	汚泥再生処理センターや温泉保養交流施設など公共施設の修繕経費の増により、89,781千円、16.9%の増
扶 助 費	児童手当や生活保護費の減などがあるものの、障がい者自立支援給付費の増などにより、78,718千円、1.1%の増
補助費等	臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金、救急医療運営費補助金の増などにより、917,559千円、53.1%の増
投資的経費	第一中学校区小中一体校建設事業費や裏館小学校改築事業費の減はあるものの、緊急内水対策事業費や新保裏館線道路改築事業費などの増のほか、国の緊急経済対策に伴い平成24年度補正予算で対応した経費を例年どおり当初予算に計上したことなどにより、3,266,828千円、60.1%の増
公 債 費	合併特例事業債や臨時財政対策債の元金償還の増により、1,176,103千円、18.0%の増
貸 付 金	中小企業経営安定化緊急対策資金、新潟・福島豪雨災害緊急対策資金、中小企業構造改革資金等の制度融資預託金の減などにより、546,994千円、8.9%の減
繰 出 金	国民健康保険事業や農業集落排水事業、公共下水道事業の特別会計繰出金の増などにより、138,081千円、3.1%の増

4 基金の状況

平成26年度末の基金残高見込額は、9,640,422千円

平成26年度中に財政調整基金、公共施設整備基金、介護給付費準備基金の取崩を行うことなどにより、平成25年度末残高見込額から1,956,612千円の減

(単位：千円)

区 分	平成25年度 末残高見込額	平成26年度増減見込額		平成26年度 末残高見込額
		積立見込額	取崩見込額	
財政調整基金	5,561,367	1	1,445,960	4,115,408
市債管理基金	524,163	67,000	67,000	524,163
職員退職手当基金	1,519,118	1,440		1,520,558
国際交流基金	107,135			107,135
人材育成基金	194,981		4,106	190,875
社会福祉基金	342,187	85	5,196	337,076
アークランドサカモト株式会社障がい者福祉基金	96,966	97	2,000	95,063
温泉保養交流施設等整備基金	25,984	26	17,203	8,807
花と緑のまちづくり基金	114,291		5,636	108,655
下水道施設等整備基金	103,204	104		103,308
奨学基金	203,373	1	16,165	187,209
理科教育振興基金	100,100	101		100,201
文化振興基金	61,874		3,840	58,034
諸橋文庫・諸橋博士漢学の里基金	185,397			185,397
公共施設整備基金	1,856,753	1,857	427,733	1,430,877
国民健康保険事業財政調整基金	384	1		385
介護給付費準備基金	599,757	600	33,086	567,271
合 計	11,597,034	71,313	2,027,925	9,640,422

5 市債の状況

平成26年度末の市債残高見込額は99,295,171千円

平成25年度末残高見込額から1,905,434千円の増

(単位：千円)

区 分	平成25年度 末残高見込額	平成26年度増減見込額		平成26年度 末残高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
一 般 会 計	71,333,451	9,420,205	6,682,660	74,070,996
農業集落排水事業特別会計	6,797,988	196,100	397,538	6,596,550
公共下水道事業特別会計	19,258,298	744,500	1,375,173	18,627,625
合 計	97,389,737	10,360,805	8,455,371	99,295,171

6 重点政策の概要

少子高齢化による人口の自然減は避けられないとしても、社会減を可能な限り抑え、社会増に転じさせていくため、「5つの徹底」「3つの基盤」というこれまで進めてきた方向性を堅持し、まちの魅力を高めていくながら、「選ばれて次代まで住み継がれるまち」の実現に向けて積極果敢に市政を展開していきます。

6 - 1 5つの徹底

- 1 地域経済の再活性化 ~「産業都市三条」にこだわり抜く！~
- 2 子育て環境の充実 ~次代を担う子どもたち・若者たちを育て抜く！~
- 3 スマートウェルネス三条の推進 ~赤ちゃんからお年寄りまでが健康的に暮らし抜く！~
- 4 シティセールスの推進 ~三条の素晴らしさをアピールし抜く！~
- 5 市民参加の徹底 ~市民パワーを活用し抜く！~

(1) 地域経済の再活性化 ~「産業都市三条」にこだわり抜く！~

〔6,066,633千円 重複掲載を除く。(主要事業説明資料 P1)〕

しなやかで腰の強い産業構造への転換に向けて、引き続き、「売れるものづくり支援事業」「成長産業分野進出支援事業」「次世代産業創造プロジェクト事業」を着実に進めつつ、新たな課題への挑戦、更なる技術の高度化に取り組んでいきます。

成長産業分野進出支援事業では、これまでの研究で培った技術と世界に誇る当地の金属加工技術とを融合させ、市場創出に向けた商品開発へとつなげ、次世代産業創造プロジェクト事業では、産官学連携による三条発の小型風力発電装置の商品化に向けた検討を進めるとともに、新たにその研究成果を活かした水力発電分野への参入を支援していきます。

また、特定の層をターゲットにした戦略として、「燕三条 工場の祭典」に加え、これまでの売れるものづくり支援事業に「一社逸品」開発枠を新たに設け、特徴的な技術を見える化するための製品開発への支援を行うとともに、様々なインキュベーション機能を持った「ものづくり拠点施設」の整備を着実に進めていきます。

さらに、当地域の高いものづくり技術をアピールするとともに、しっかりと商談へとつなげていくため、「燕三条ものづくりメッセ」をビジネスイベントとして装いを新たに開催していきます。

農業については、新たな農政に対応した最適な経営モデルの確立を目指して、生産、流通、消費の各主体からなる「農業経営所得安定対策検討委員会」を新設し、市場ニーズに即した転作作物の選定、販路の開拓等に取り組んでいきます。併せて、価格競争に捉われず所得の向上を図るため、生産だけではなく、加工、流通までを視野に入れた農業のビジネスモデルである6次産業化に向けた取組を支援していきます。

ア 農産物販路開拓推進事業	5,290千円(P32)
イ 地産地消推進事業	24,456千円(P32)
ウ 農業担い手確保育成事業	21,877千円(P32)

工	米政策改革推進対策事業	69,602千円 (P33)
オ	商工業活性化事業	109,637千円 (P34)
カ	伝統的地場産業振興事業	26,514千円 (P34)
キ	金融対策事業	5,578,745千円 (P35)
	(25補正含み)	5,650,178千円)
ク	燕三条地場産業振興センター事業	188,051千円 (P35)
ケ	ものづくり拠点施設整備事業	18,761千円 (P35)
コ	地域ブランド推進事業 (重複掲載)	12,412千円 (P36)
サ	中心市街地活性化事業 (重複掲載)	44,037千円 (P37)
シ	観光事業 (重複掲載)	38,757千円 (P38)
ス	雇用対策事業	23,700千円 (P39)

(2) 子育て環境の充実 ~次代を担う子どもたち・若者たちを育て抜く!~

[5,016,922千円 重複掲載を除く。(主要事業説明資料 P11)]

当市の教育の軸である小中一貫教育を通じて、子どもたちの「生きる力」の醸成と基礎学力の定着を図っていく一方で、潜在的な能力を持った子どもの才能を更に伸ばすチャンスや環境を与えるため、学力、スポーツ、文化・芸術の分野で高い資質と意欲を兼ね備えた子どもたちが将来「一番星」として輝けるよう、その能力を更に高めるための取組を進めていきます。

学力面では、小学5年生から中学2年生までを対象に、子どもたちの理解度に応じた質の高い授業を提供し、難関大学に将来合格できるだけの学力を身に付けられる環境を整えていきます。スポーツの分野では、トップアスリートとなり得る実力を持つ子どもたちに対し、大会や練習に係る費用の補助を通じて負担の軽減を図っていきます。文化・芸術の分野では、専門家による音楽や美術の指導を受ける機会を設けるほか、芸術系大学への入学を志し、更に高度な指導を希望する子どもたちに対して、それに係る費用を補助していきます。

また、近年失われつつある「ものづくり」のDNAを次の世代に確実に引き継いでいくため、引き続き、ものづくり教育を推進するとともに、来年度は、実際の仕事現場でのリアルな職業体験プログラム「アウトオブキッザニア」を開催し、燕三条工場の祭典で発信する「ものづくり」の魅力を子どもたちにも分かりやすい形で伝えながら、その素晴らしさを次世代に継承していきます。

ア	小中一貫教育推進事業	54,931千円 (P26)
イ	さんじょう一番星育成事業	44,043千円 (P26)
ウ	防災キャンプの実施	800千円 (P27)
エ	学力向上推進事業	4,711千円 (P27)
オ	刃物(ものづくり)教育推進事業	4,257千円 (P27)
カ	特別支援教育事業	14,411千円 (P27)
キ	いじめ・不登校対策事業	11,913千円 (P28)
ク	適応指導事業	7,296千円 (P28)
ケ	幼児教育推進事業	2,652千円 (P28)

コ	小学校施設整備事業	1 3 6, 2 6 8 千円 (P28)
	(25)補正含み	4 3 4, 2 6 1 千円)
サ	中学校施設整備事業	8 7, 7 1 0 千円 (P28)
	(25)補正含み	1 4 2, 6 1 0 千円)
シ	本成寺中学校特別教室棟改築事業	1 6 3, 4 9 2 千円 (P28)
	(25)補正含み	2 5 9, 9 8 2 千円)
ス	第一中学校区小中一体校建設事業	4 6 0, 9 2 3 千円 (P28)
セ	大崎中学校区小中一体校建設事業	5 3 1, 0 5 7 千円 (P29)
ソ	第二中学校区小中一体校体育館改築事業	3 3, 0 1 5 千円 (P29)
	(25)補正含み	3 9 3, 5 4 0 千円)
タ	学校給食調理場整備事業	1 9, 3 9 5 千円 (P29)
チ	しかけ絵本日本一プロジェクト事業	8 5 6 千円 (P30)
ツ	総合サポートシステム事業	1, 8 1 8 千円 (P43)
テ	三条っ子発達応援事業	2 5, 8 7 8 千円 (P43)
ト	保育サービスの充実	2, 4 7 9, 4 8 9 千円 (P44)
ナ	須頃・大島統合保育所建設事業	5 7 3, 4 7 4 千円 (P44)
ニ	放課後児童健全育成事業	1 2 3, 4 1 5 千円 (P45)
ヌ	(仮称)第二ノ木戸児童クラブ整備事業	2 4, 6 9 0 千円 (P45)
ネ	井栗児童クラブ建設事業	2 1 0, 4 2 8 千円 (P45)

(3) スマートウエルネス三条の推進 ~赤ちゃんからお年寄りまでが健康的に暮らし抜く!~ [4 7 7, 5 5 8 千円 重複掲載を除く。(主要事業説明資料 P18)]

市民の誰もが生涯にわたり健康で幸せに暮らし続けるためには、人々が出掛けたいくなるような魅力がまちのあちこちに備わっていることと併せ、外出を容易にし、歩きやすい環境を整えることが重要なことから、まず、外出機会が少なくなりがちの高齢者の多い三条小学校区をモデルに、人々の外出を誘引していくための取組を進めていきます。

具体的には、このまちの歴史や文化の詰まった町家等を再生し、創作活動を行う方に滞在用の住居や工房として貸し出したり、かつて人々が足を運ぶ動機であった商店や飲食店などの様々な機能に復元したりするための支援と併せ、そこに続く小路についても、四季折々の風情を引き出しながら、歩くことに価値を見出せる環境づくりを進めていきます。

また、二・七の市に、朝食をとることのできる環境を整備し、新たなにぎわいの創出と併せて、高齢者の就労や生きがいづくりを支援していきます。

道路についても散歩や買い物の途中でふと立ち止まりたいくなるような人々の滞留を誘発する集える空間に見直していきます。

さらに、来年度廃止する三条学校給食共同調理場の跡地を活用して、人々が思い思いに楽しさを見つけて過ごしていただけるような全天候型の広場を平成27年度の供用開始を目指して整備していきます。

ア	地域公共交通総合連携計画の推進	6 0, 1 2 8 千円 (P22)
イ	景観資源活用事業	6, 8 2 5 千円 (P23)

ウ	さんじょう一番星育成事業 <small>〔スポーツ文化・芸術のみ〕</small> (重複掲載)	9,325千円 (P26)
エ	新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合負担金	34,211千円 (P30)
オ	中心市街地活性化事業	44,037千円 (P37)
カ	スマートウエルネス三条推進事業	8,213千円 (P40)
キ	健幸マイレージ事業	3,066千円 (P40)
ク	健康運動教室事業	10,747千円 (P40)
ケ	食育推進事業	6,425千円 (P41)
コ	救急医療施設運営事業	183,572千円 (P42)
サ	障がい者居住支援拠点施設建設事業	36,694千円 (P48)
シ	全天候型広場整備事業	83,640千円 (P55)

(4) シティセールスの推進 ～三条の素晴らしさをアピールし抜く！～

〔323,610千円 重複掲載を除く。(主要事業説明資料 P24)〕

昨年度は、交流人口の拡大を図るため、豊かな自然や歴史・文化に彩られた下田郷を舞台に、「道の駅漢学の里しただ」のリニューアル、「白鳥の郷公苑」のオープン、古くは下田地域と福島県只見町とを結ぶ重要な街道であった国道289号「八十里越」の暫定活用を契機に始めた「秘境八十里越体感バスツアー」の運行など、新たな一歩を踏み出しました。

来年度は、より多くの方から八十里越を含む下田郷全体の雄大な自然や歴史ロマンを体感していただくため、八十里越旧街道の入口である吉ヶ平周辺の整備と併せ、日本の原風景を感じさせる古民家に宿泊しながら、サイクリングや溪流釣り、雪の里山でのアウトドアを楽しむような体験型の観光プログラムの開発に取り組んでいきます。

他方で、当市のアイデンティティである「ものづくり」を将来にわたり守り続けていくため、燕三条工場の祭典を拡充し、ファンの裾野を広げていくとともに、若手クリエイターと企業とのマッチング機会を提供するなど、様々な交流ニーズに対応し、その魅力を市内外に発信していきます。

ア	燕三条地場産業振興センター事業(重複掲載)	188,051千円 (P35)
イ	地域ブランド推進事業	12,412千円 (P36)
ウ	中心市街地活性化事業(重複掲載)	44,037千円 (P37)
エ	観光事業	38,757千円 (P38)
オ	観光施設等整備事業	196,097千円 (P38)
カ	交流拠点施設整備事業〔保内地区〕	76,344千円 (P38)
	(25)補正含み	106,633千円)

(5) 市民参加の徹底 ～市民パワーを活用し抜く！～

〔 24,378千円 重複掲載を除く。(主要事業説明資料 P28) 〕

人口減少社会に突入し、今までも増して高齢化が進む中、活力ある社会を維持していくためには、地域住民の主体的な活動を後押しし、持つ力を最大限に発揮していただくための環境整備が極めて重要です。

そのため、今年で5年目を迎える三条マルシェを始め、三条らしい昔ながらのまちなみの形成に不可欠な小路の魅力の発信、日常的なにぎわいを創出していくための「108 apply」の取組、そして、昨年6月から運行を開始しました秘境八十里越体感バスツアーの市民ガイドの活用等、市民の多様な活動を後押ししていきます。

また、子育て拠点施設「すまいるランド」に隣接する図書館栄分館をしかけ絵本の蔵書数日本一を目指し、子ども・子育てに特化した図書館としてリニューアルするに当たっては、クラウドファンディングにより、資金を調達するとともに、その発信力を活用して一緒に取組を進めてくれる協力者の獲得につなげていきます。

ア	しかけ絵本日本一プロジェクト事業(重複掲載)	856千円(P30)
イ	中心市街地活性化事業(重複掲載)	44,037千円(P37)
ウ	観光事業(重複掲載)	38,757千円(P38)
エ	まちづくり活動支援事業	24,378千円(P54)
オ	全天候型広場整備事業(重複掲載)	83,640千円(P55)

6 - 2 3つの基盤

- 1 行財政改革の推進
- 2 社会インフラの整備促進
- 3 力強い地域基盤の確立

(1) 行財政改革の推進 〔 16,713千円 (主要事業説明資料 P30) 〕

人口減少等の社会構造の変化による財政負担等の影響を鑑み、今まで以上に事業の選択と集中を進めるとともに、再度あらゆる面で費用対効果の徹底を図りながら財政の柔軟性の確保に努めていきます。

併せて、行政運営を担う職員の能力を今まで以上に高め、それぞれの職位、職種に求められている成果を確実に上げる必要があることから、そのために必要な視座、指針などを示した行動規範「三条市役所品質」を策定し、私を含む職員の能力向上と行動変容を図っていくことと併せ、それを制度面で後押しするため人事考課制度や給与制度などについても必要な見直しを行っていきます。

また、来年度は、自治体の改善事例を集めた「全国都市改善改革実践事例発表会」を当市で開催し、そこでの刺激や気付きを更なる改革に活かしていきます。

ア	内部事務系システム更新事業	1,143千円(P25)
---	---------------	--------------

イ 総合計画の策定	3,227千円 (P56)
ウ 経営改革の推進	137千円 (P56)
エ 全国都市改善改革実践事例発表会の開催	1,000千円 (P56)
オ 人材育成の推進	11,206千円 (P56)

(2) 社会インフラの整備促進

[4,894,120千円 重複掲載を除く。(主要事業説明資料 P34)]

引き続き、新保裏館線、栄スマートインターチェンジのアクセス道路ともなる岡野新田1号線や矢田中曽根新田線の整備など、新市建設計画に掲げる事業を着実に推進しながら、安心して快適な都市環境の整備に努めていきます。

また、五十嵐川災害復旧事業については、引き続き、地元関係者の協力をいただきながら、笠堀ダムの高上げや遊水地の整備など、県と連携し改修事業を促進していきます。

さらに、「布施谷川・新川排水路及び貝喰川内水氾濫対策検討会」からの被害軽減策を基に、ハード、ソフト両面から事業の着実な推進に向けた検討を進めていくとともに、近年多発する集中豪雨を念頭に、道路冠水、床下・床上浸水などの被害を軽減するため、西大崎地内への排水ポンプの設置と併せた旧一ノ木戸小学校跡地への雨水調整池の設置、輪之内ポンプ場排水区域及び間野川排水路の改良工事と併せた第一中学校区の雨水調整池の整備など、関係機関や地域住民と協議を行いながら着実に進めていきます。

ア 緑地整備事業（旧一ノ木戸小学校跡地利用緑地整備、条南小学校跡地利用緑地整備、第一中学校跡地利用緑地整備、西本成寺一丁目地内緑地トイレ新築ほか）

577,386千円 (P23)

(25補正含み 817,386千円)

イ 道路改良事業（興野新光線、矢田中曽根新田線、岡野新田1号線、飯田原二日町線、森町院内線、支所土場線、今井野新田1号線、森町中浦線ほか）

897,485千円 (P24)

(25補正含み 1,128,050千円)

ウ 新保裏館線道路改築事業

1,032,774千円 (P24)

(25補正含み 1,850,774千円)

エ 林道濁沢名下線開設事業

80,000千円 (P33)

オ 水害対策事業

86,000千円 (P51)

カ 緊急内水対策事業

1,557,000千円 (P51)

(25補正含み 1,767,000千円)

キ 田んぼダム推進事業

1,010千円 (P51)

ク 消防施設等整備事業

174,877千円 (P52)

(25補正含み 727,650千円)

ケ 消防団施設等整備事業

30,969千円 (P52)

コ 水利施設整備事業

19,970千円 (P52)

サ 災害対策事業

81,350千円 (P53)

(25補正含み 337,570千円)

シ	地域防災力強化事業	4,350千円 (P53)
ス	7.13水害追悼式典の開催	10,842千円 (P53)
セ	災害復旧関連農林水産施設改良事業	105,000千円 (P56)
ソ	災害復旧関連公共土木施設改良事業	228,807千円 (P56)
タ	新市建設計画の推進	6,300千円

新市建設計画掲載事業

(単位：千円)

事業名	予算額	事業名	予算額
新保裏館線道路改築事業	(1,032,774) 【1,850,774】	間野川排水路改良事業	(183,000)
矢田中曽根新田線道路整備事業	(360,550)	須頃・大島統合保育所建設事業	(573,474)
森町院内線道路整備事業	() 【48,000】	粟ヶ岳登山道及び道路整備事業	(74,800)
岡野新田1号線整備事業	(146,000) 【245,000】	吉ヶ平周辺整備事業	(88,564)
興野新光線歩道設置事業	(32,000) 【65,000】	林道濁沢名下線開設事業	(80,000)
飯田原二日町線歩道設置事業	(80,000) 【106,000】	交流拠点施設整備事業〔保内地区〕	(76,344) 【106,633】
公共下水道事業〔三条地区〕(*)	154,449 【452,949】	第一中学校区小中一体校建設事業	(460,923)
特環下水道事業〔栄地区〕(*)	80,572 【231,572】	大崎中学校区小中一体校建設事業	(531,057)
特環下水道事業〔下田地区〕(*)	77,513 【221,513】	井栗児童クラブ建設事業	(210,428)
旧一ノ木戸小学校跡地利用内水対策・緑地整備事業	(200,000) 【520,000】	県事業費負担金(2事業)	6,300
条南小学校跡地利用内水対策・緑地整備事業	(505,000) 【615,000】	計25事業	6,052,748 【8,260,537】
第一中学校跡地利用内水対策・緑地整備事業	(333,000) 【463,000】		
須頃郷地区内水対策事業	(460,000)	予算額()書きを除く事業	318,834 【912,334】
西大崎地内排水ポンプ整備事業	(306,000)	特別会計(*)を除く事業	6,300

(予算額が()書きの事業は、重複掲載の事業、【 】書きの金額はH25補正を含んだ額)

(3) 力強い地域基盤の確立

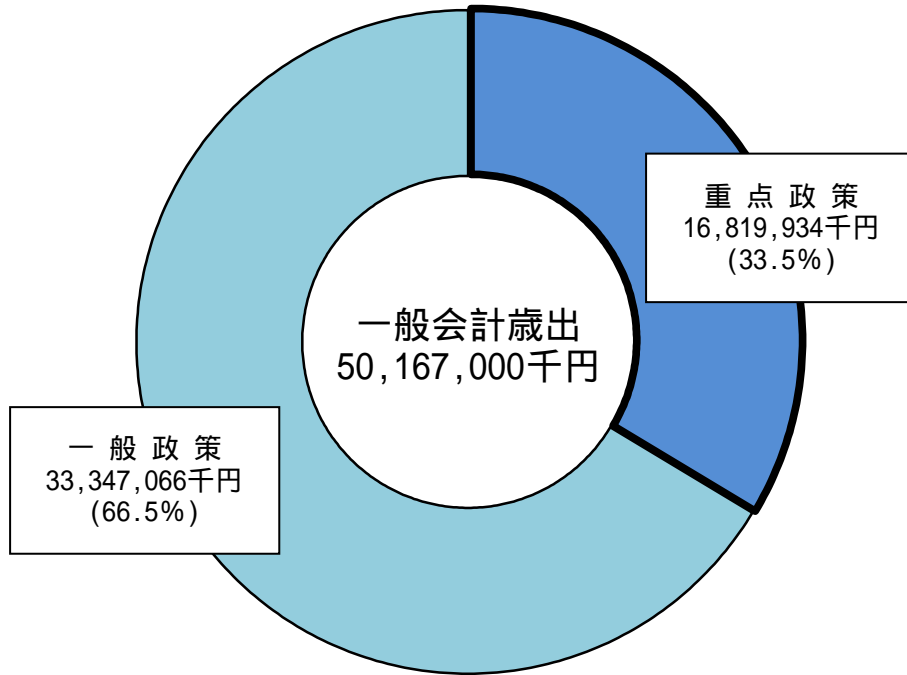
(主要事業説明資料 P35)

県央地域における救命救急センターの設置と安定的な医療サービスの提供、「燕三条」という認知度を最大限に発揮した取組など、より効果的にこの地域の魅力を高めていくためにも、生活圏を同じくする近隣市町村との具体的な連携の在り方について検討していきます。

ア	新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合負担金(重複掲載)	34,211千円 (P30)
イ	燕三条地場産業振興センター事業(重複掲載)	188,051千円 (P35)
ウ	救急医療施設運営事業(重複掲載)	183,572千円 (P42)

重点政策構成比

重点政策の総額は **16,819,934千円**で、平成26年度当初予算に占める割合は **33.5%**



投資的経費のうち重点政策に充当する経費は **7,432,595千円**で、投資的経費全体に占める割合は **85.4%**

